

第 34 回一宮市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

令和 4 年 3 月 3 日（木）午後 1 時 30 分

<危機管理監>

3 月 2 日に発表された市内の陽性者数は 389 人であり、愛知県内では 5,225 人（うち名古屋市 1,573 人）であった。現在も陽性者数の高止まりが懸念され、予断を許さない状況のままである。

10 万人あたりの新規陽性者数について、愛知県・一宮市ともに、国の規定するレベル 3 を大きく超えている。

このような中、愛知県は「まん延防止等重点措置」の適用期間の再延長を要請した。政府はこの期間を 3 月 21 日までとする見込みで、3 月 4 日に正式に決定される。措置内容は現在のものと同様となる見込み。

<保健所長>

市内の状況は、県と同様に 2 月中旬がピークと見られるが、減少幅は少なく、高止まっている状況である。

保健所で行う濃厚接触者の調査について、1 月以降は陽性者の同居家族のうち高齢者や持病がある方等に限定し、重点的に調査を行っている。

陽性者のうちのワクチンの接種状況については、未接種が 96 名、1 回以上が 1,084 名、2 回以上が 1,075 名、3 回が 124 名であった（いずれも 60 歳以上）。

保健所業務の停滞を少しでも解消するため、土日を含め、職員の応援体制を強化している。

<危機管理課長>

「愛知県まん延防止等重点措置」の市民への周知として、尾張一宮駅の一宮七タビジョンデータの更新、および市の各部署における注意喚起の掲示物の切替えを実施する。

公共施設、イベントへの対応については、学校施設の貸出しの一部再開と、七夕まつり関連のイベントを中止すること以外は、現在の対応を延長することとする。この件については、3 月 4 日の午後に報道発表を行う。

<市民健康部長>

3 回目のワクチン接種率は、65 歳以上では 65% で、接種対象となる 18 歳以上では 27% となっている。

接種券の発送については逐一報道発表を行っている。5歳から11歳を対象とした接種券は、「ワクチン接種は努力義務が適用されていない。お知らせ文などをよく読んで接種するかどうか判断を」と明記して一斉に発送する。

<副市長>

まん延防止等重点措置の延長期間である3月下旬からは、新年度関連の行事・イベントが多くなる。少しずつでも経済が回復できるよう、市においては、県と同様、現状の対策を続けていくことを繰り返しアナウンスしていく。

市民の安心に繋げるためにも、持っている情報はしっかりと公開・説明すること。

<市長>

陽性者数の急増に伴い、日々の報道発表資料では、特に年代別の感染の状況がわかりにくいので、わかりやすい形で情報提供できるよう、資料の見せ方を工夫されたい。

学校施設が一部貸し出しを再開し、さらに保育所における休園に係る対応についても、本日から方針を転換している。他にも、前例にこだわり過ぎることなく、日々変わり続ける事態を冷静に分析し、柔軟に対応されたい。